

日本共産党 岡山市議会議員  
**河田 正一**

市政ニュース

| 6月議会報告号 |

2018.7.29 No.58

発行人 河田正一  
岡山市北区御津高津 874  
☎086-724-0895  
<http://k.okjcp.jp/>

河田正一 検索

ブログ



## 産廃 監視強化を



エヌエス日進の御津虎倉安定型処分場は、岡山市が許可しましたが、まだ搬入は始まっていません。市は、着手前検査が終わっていないからと答弁しました。計画地は、

砂防指定地であり、県の埋立等の許可が必要ですが、業者は届出なしで、沈砂池や暗渠排水などの工事をを行いました。河田正一議員は、許可条件に関係法令の遵守がうたわれている、検査前に搬入されないよう監視を強めるように求め、局長は厳正に対処すると答えました。

## 足守メガソーラー

## 反対の陳情

## 採択



186haの巨大なメガソーラー計画は、里山の保水機能を壊すなど、自然破壊だと、地元大井などから出された陳情は全会一致で採択されました。河田正一議員は陳情者の皆さんとともに、議長や当局への要請に加わりました。

## ごみは焼却から資源に



岡山市、玉野市、久米南町が共同で、ごみ焼却場を新たに作るうとしています。候補地が3カ所に絞り込まれました。さ

らに周辺整備などは含まず本体だけでも91億円の計画です。ごみを加熱分解して、油や炭に変える新技術の開発が進んでし

ます。軽油で発電し売電ができます。炭も燃料になります。燃やせば灰になり処理するのに多額な経費がかかりますが、分解すれば灰は発生せず、埋め立ての必要がないのもあります。加熱分解する方式を研究するように強く求めました。

## 「記憶にない」と市長居直り



瀬戸内市の新火葬場計画で、瀬戸内市長が今年2月に大森市長を訪ね、共同を進めることを再確認したと議会で発言したのを受け、市長に質しました。市長は「事前に通告ないので確認していない。4か月も前のことは記憶にない」と答弁しました。

しかし、これはおかしい話です。

河田議員は発言通告した上で、「瀬戸内市新火葬場について、岡山市とはどこまで話が進んでいますか」と質問しました。これに対して「2年前に…」と答弁したので、瀬戸内市長の発言を紹介して質したものです。これではまるで国会の答弁と同じではありませんか。